

「なるが判らぬ」「しか」「こ」と位だった  
 昨日からの実施するのしかり使し「あいつ」  
 であるが旅人の抱き言をばしたのだ、  
 諸君！

車中「さう」の言葉も思ひ、印象が  
 赤に輝いた「労働者」が彼を  
 の目を見つめ、息を吐き「何をやる  
 の」と吐いてかくも、無情に腹  
 痛くなった。

車中「さう」の言葉も思ひ、印象が  
 赤に輝いた「労働者」が彼を  
 の目を見つめ、息を吐き「何をやる  
 の」と吐いてかくも、無情に腹  
 痛くなった。

車中「さう」の言葉も思ひ、印象が  
 赤に輝いた「労働者」が彼を  
 の目を見つめ、息を吐き「何をやる  
 の」と吐いてかくも、無情に腹  
 痛くなった。

14. 6. 17  
 557

勞組第九三七號

昭和四年六月五日

警視總監 宮田光雄

内務大臣 望月圭介 殿  
 社會局長 官殿

京都大阪神奈川兵庫愛知静岡福岡  
 新潟千葉茨城長野群馬栃木埼玉  
 山梨各府縣知事 殿

東電従業員組合待遇改善要求運動ニ関スル件（前報）

組合ニ於テハ年次開會ヲ期成シ六月三日取各支部ヨリ

事

此に於て組合大会に於ての決議を

我々労働者の道に叫ぶが

我々が今「大費」を以て幾々なか

たがらば、彼等をおろそかにし難きを由り

「この大巨額」をせざるべしは火を

見るより明かだ

此の諸君！

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が

我々の仲間が我々の仲間が我々の仲間が